

政務活動費活動報告（研修）

(1) 研修名：
地方自治基礎講座・自治体財政

(2) 参加者：
日本共産党彦根市議団
山田多津子、山内善男

(3) 日時・場所：

2014年1月25日 13時30分～16時30分 大津市（明日都浜大津会議室）

2014年2月 1日 13時30分～16時30分 大津市（明日都浜大津会議室）

【1. 研修目的】

多くの自治体では財政難のもとで経費削減型行政改革をすすめているため住民要求の実現が困難になっている。さらに4月からの消費税増税などが地方財政にどのような影響を与えるのか心配されるなかで、国の新年度予算とともに地方財政計画が作られ、新年度予算が編成され議会で審議がはじまる。これに臨むために財政の基礎知識を学ぶ。

【2. 結果報告】

(1) 内容

第1 地方財政の役割・機能と日本の地方財政の特徴

- 1、財政の三つの機能
- 2、市場経済の原理と財政の原理の違い
- 3、国と地方の財政関係の日本的特質

第2 予算書を読み取るための財政の知識

- 1、予算と決算制度
- 2、財政の仕組み

第3 財政を調査・分析する視点と手法

- 1、財政分析を始める前に
- 2、決算カードを使った財政分析
- 3、財政分析に使う指標の意味
- 4、さらに詳しい財政分析

第4 2014（H26）年度地方財政対策関係

（2014（H26）国家予算にみる地方財政）

(2) 考察

用語解説から自治体財政の仕組みを基礎から学ぶことができた。

自治体の財政の姿を決めるのは①地域経済とそこで暮らす住民の生活実態②国と自治体との財政関係、財政制度や財政政策③自治体自身の財政運営であり、国や制度の問題だけにせず、近隣自治体との行政内容の違いを会計でみるなどの視点が大事なことを学んだ。

また、最新の情報に基づく国家予算の編成方向が地方に及ぼす影響を学習し、地方自治体の本来の役割を果たさせることが必要です。